

GAP研修 (11/15)



GAP管理ができるタブレット端末を囲んで

GAPに関する特別講義がありました。講師の方から、詳細な説明があり、「現在の農大生が、GAPを導入するために先頭に立つ世代になる。」と励ましをいただきました。その後、コンピューター会社の方から、最新のICT技術を活用したGAP管理等について研修を受けました。

甘藷試食調査会 (11/20)



1・2年次生全員が試食

阿波ふうどとJA全農とくしまから依頼があり、「蒸かし芋」3種の甘藷の味覚調査に農大生が参加しました。一番おいしいと答えたのは、「なると金時」42%、「ベニハルカ」41%、「ベニアズマ」15%、「不明、同じ」2%でした。なると金時の販売戦略に活用してくださるとのことです。

農業巡見 (11/15) 上板町を拠点に活動する藍師・染師のBUAISOUを訪れました。



藍染液の仕込みと染色



菜(すくも)造り

藍の栽培から染色、仕上げまで行っています。ニューヨークにスタジオを持つなど活躍の場は国際的です。

1年次生のプロジェクト研究も始まっています。

イチゴのハウス土耕栽培で品種比較をしています。写真奥の学生が調査している畝は、コンパネを畝両側に立てた高畝です。



県外販売研修 (11/17) 兵庫県神戸市の「阪急オアシス石屋川店」で販売研修

店舗前広場の「おひさん市」という産直市で、農大で生産した青果物と、学生がプロジェクト研究で製造した加工品等を販売し、プロジェクト研究の担当学生が、アンケート調査も実施しました。関西の消費者と直接触れ合うよい機会でした。



タブレット端末でSNS発信



加工品を試食してもらって販売



全員集合

緑の学園 (11/22) 「緑の学園」は、農業に関心のある高校2年生を対象に、講義や講演、実習を通じて、農業大学校への理解を深め、また「職業としての農業」を知ってもらい、農業分野の人材を育成することを目的としています。



ブロッコリーの収穫



ハウスの除草作業

主な日程

1. オリエンテーション・講義
 - 1) 新規就農者支援に関する施策・制度について
 - 2) 農業大学校における農業教育及び模擬会社「そらそうじゃ」について
2. 農業大学校卒業生による講演会
 - 1) 自営就農者(阿波市: 柏木秀幸) 2) 雇用就農者(株式会社イファーム: 加戸貴大)
3. 農林水産総合技術支援センター見学
4. オープンキャンパス: 4班に分かれ、農業実習を体験

収穫祭 (11/28) 苦労して育てた農産物を収穫できたことを喜ぶとともに、農大祭を成功させることができた労をねぎらおうと、1年次生が準備をして収穫祭を開きました。



料理班は約90人分を調理



テント設営は、会場準備班



1年次生自治会副会長が開会挨拶



2年次生自治会長がお礼の挨拶



そらそうじゃ社長が農大祭の収支報告



メイン料理は寄せ鍋。みんなしていると、話はずみ、たくさん食べられました。

